

労山全国連盟 メールニュース

発行：日本勤労者山岳連盟 メディア局

2014年4月8日 第4号

▲▲1：「山の日」制定に向けて法案を提出

国民の祝日が、再来年・2016年8月から、1日増えそうです。

超党派で構成される「山の日」制定議員連盟は、3月28日（金）に「山の日」の祝日化法案（注）を衆議院に提出しました。この法案には、自民党から共産党まで賛成しているため、順調にいけば、会期末が6月22日の今国会で可決成立する見通しです。

法案では、2年後の2016年から8月11日を国民祝日「山の日」にするとしています。これまで、労山も日本山岳会や日本山岳協会など山岳5団体とともに「山の日」制定協議会を作り、「山の日」を実現するため取り組んできました。その、大きな成果です。

（注）正式名称：国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律案

▲▲2：全国「女性担当者会議」の実施要綱決まる

全国連盟女性委員会（委員長 藤元理律子）は今年6月に実施する「全国女性担当者会議」の実施要綱を決定しました。日程は6月28日（土）～29日（日）1泊2日で、東京・渋谷区代々木にある「国立オリンピック記念青少年センター」で開催されます（添付資料参照）。

当初、この会議は会場を全国連盟事務所と想定していましたが、オリンピック青少年センターが確保できて、宿泊や食事もきちんとしたところでとれることになりました。28日は13時から開始され、基調報告と地方連盟報告があり、翌29日に討論と質疑、まとめの報告があり正午に解散の予定です。地方連盟1名の交通費は全国連盟が負担、宿泊費（1泊2食付で6000円/人）は参加者負担となっています。申込み締め切りは6月10日です。

▲▲3：主な山の標高を改定

国土地理院 1メートル高くなった山と1メートル低くなった山を発表

国土地理院は4月1日から日本の主な山・約1000のうち、48の山について標高を1メートル高く、39の山については1メートル低く改定すると発表しました。

国土地理院は2002年以降、主要な山の標高の見直し作業を進めてきました。そして、人工衛星を使った精密な測量データなどを反映した結果、今回の見直しとなったものです。一度に80を超える山について改定を行うのは異例だとしています。詳しい改定内容は「日本の山岳標高一覧——1003山」ホームページに紹介されています。

<http://www.gsi.go.jp/KOKUJYOHO/MOUNTAIN/mountain.html>

主なものをピックアップすると

■ 1メートル高くなった山

山名	山頂名	見直し後	関係都道府県
羅臼岳 (らうすだけ)		1 6 6 1	北海道
女峰山 (によほうさん)	大真名子山	2 3 7 6	栃木県
皇海山 (すかいさん)		2 1 4 4	栃木・群馬県
間ノ岳 (あいのだけ)		3 1 9 0	山梨・静岡県
蓼科山 (たてしなやま)		2 5 3 1	長野県
光岳 (てかりだけ)		2 5 9 2	長野・静岡県
赤石岳 (あかいしだけ)		3 1 2 1	長野・静岡県
笠ヶ岳 (かさがたけ)		2 8 9 8	岐阜県
天城山 (あまぎさん)	万三郎岳	1 4 0 6	静岡県
荒川岳 (あらかわだけ)	中岳	3 0 8 4	静岡県
霧島山 (きりしまやま)	高千穂峰	1 5 7 4	宮崎県

■ 1メートル低くなった山

山名	山頂名	見直し後	関係都道府県
幌尻岳 (ぼろしりだけ)		2 0 5 2	北海道
和賀岳 (わがだけ)		1 4 3 9	岩手・秋田県
栗駒山 (くりこまやま)		1 6 2 6	岩手・宮城県
安達太良山 (あだたらやま)	鉄山	1 7 0 9	福島県
箱根山 (はこねやま)	金時山	1 2 1 2	神奈川・静岡県
黒姫山 (くろひめやま)		1 2 2 1	新潟県
嶮岨山 (けんそざん)	星ヶ城山	8 1 6	香川県
白髪山 (しらがやま)		1 4 6 9	高知県
英彦山 (ひこさん)		1 1 9 9	福岡・大分県

▲▲4：山岳雑誌「岳人」の発行元が9月号から変わります

東京新聞社（中日新聞東京本社）からモンベルグループへ

山岳雑誌として広く親しまれてきた「岳人」は、1949年（昭和24年）以来、東京新聞（中日新聞東京本社）が発行してきました。これが、今年7月15日発行の8月号をもって切り替わり、9月号以降は株式会社ネイチュアエンタープライズ（モンベルグループ）に引き継がれることになりました。「岳人」は今年2月号で通算800号をむかえたばかり。報道によれば、モンベル側は「白紙から編集方針は考えるが、岳人が担ってきたスタンスはフォローしたい」としており、従来よりもページ数を少なくして、価格を安くする考えのようです。

▲▲5：東京・恵比寿で山岳映画特集

数々の名作を見るチャンス！

東京都の山の手線恵比寿駅から徒歩7分、「恵比寿ガーデンプレイス」内にある東京都写真美術館で、4月19日（土）から5月2日（金）まで、山岳映画特集上映が行われます。20世紀初頭黎明期のドイツ映画から、「剣岳・点の記」など最近の日本映画まで、毎日2本から4本の山岳映画が上映され、数々の名作を見ることのできるチャンスです。

この企画は、同館で現在展示中の写真展「黒部と槍 冠松次郎と穂苅三寿雄」(3/4～5/6)に関連したイベントとして行われます。入場料は1作品につき1500円(前売り券1300円)。労山創立呼びかけ人の一人、谷口千吉氏が監督し、三船敏郎のデビュー作「銀嶺の果て」も上映されます。（上映スケジュールは添付参照）

詳しくは「東京都写真美術館」のホームページをご覧ください。